



今回は、第12回さくら塾の報告です。今回で5回を数える高見剛先生(岐阜大学名誉教授)の講座です。

**期 日:** 平成30年3月6日(火) 13:30 ~ 15:00  
**場 所:** 北舎別館2F  
**講 師:** 高見 剛 先生 (岐阜大学名誉教授、株式会社東海細胞研究所顧問)  
**演 題:** 「医学部医学科をめざす」  
**対 象:** 医学部医学科をめざす1・2年生生徒(7名)、本年度卒業生(医学部進学者2名)

岐阜大学名誉教授高見剛先生の講演会も今年で5回目。今まで受講した関高生の中から、すでに7名が岐阜大学医学部医学科に合格。医師の仕事、地域医療の果たす重要な役割、医学部医学科の受験対策。高見先生のお話は様々な分野に及びます。

地域社会の持続可能な発展にとって、地域医療に従事しようという志を持った若者の存在は必要不可欠。持続可能な地域医療は、関高のSGH活動にとっても、重要な研究分野のひとつ。関高では例年、「さくら塾」やリサーチツアー、職業別ガイダンスなどの機会を利用して、医療関係の方々の講演会や医療体験セミナー、施設見学、大学ゼミ参加を実施しています。今回の高見先生の講演会も、そうした試みのひとつです。



## ◇ 生徒の感想

私は高見先生の話聴き、自分の目指している進路のイメージをより明確にし、勉強へのモチベーションを高めることができたと思っています。先生は岐阜大学の医学部を受けるにあたって考えておくべき点や、どのような能力が医師として必要になってくるかという話をしてくれました。その中で個人的に大事だと思ったのが、小倉真治さんのドクターヘリについて紹介したことだと思います。私はドクターヘリは岐阜大学の最も大きな特徴のひとつであると思います。さらにドクターヘリについては個人的にも色々と興味があります。だからこれに関係のある本や記事を読んでみようと思いました。また医学部に合格した先輩からは、SGHなどの勉強以外の活動も大事だと言われました。私は勉強が大事だとは思っていたけど、それ以外については考えたことがなく、先輩の言葉に驚きました。これからは勉強はもちろん、部活や学校行事などもしっかりと向き合って自分のできることをやっていこうと思いました。

